

“防災”の学び

平成29年1月末現在

実施日		学校・地域名	対象者・人数	内 容
1	H28.6.22	大阪市立大学の学生及び地域住民	170名	コミュニティーと防災の関係～災害とボランティア活動～
2	H28.10.20	北ボラ部会	18名	災害ボランティアセンターとは
3	H28.11.20	北ボラフェスタ	50名	区社協・ボランティア 災害ボランティアセンターシュミレーション研修
4	H28.12.20	大淀西地域	18名	避難所での要援護者配慮について
5	H28.12.24	防災寸劇講座	5名	1/14 防災フェスタにいける防災寸劇について
6	H29.1.7	防災寸劇講座	6名	1/14 防災フェスタにいける防災寸劇について
7	H29.1.14	防災フェスタ	476名	区・区社協・企業・ボランティア・自衛隊・曾根崎警察署・北消防署・要援護者協同開催並びに災害ボランティアセンターシュミレーション研修
8	H29.1.17	区・区社協合同訓練	30名	区・区社協・ボランティア合同 災害ボランティアセンターシュミレーション研修
9	H29.1.25	北野地域	28名	避難所での要援護者配慮について
10	H29.2.14	北野地域	(予定)	避難所での要援護者配慮について
11	H29.2.19	北野・曾根崎地域住民	(予定)	防災訓練における避難所での要援護者配慮について
12	H29.2.25	豊崎小学校(1年～6年) 豊崎地域住民	(予定)	防災訓練における避難所での要援護者配慮について
13	H29.2.26	大淀西地域住民	(予定)	防災訓練における避難所での要援護者配慮について

【防災の学びの感想より】

※防災フェスタより

- ・ 防災フェスタで見た防災寸劇や「MARCH」の映画を自分達の地域でもしたいと思いました。台本・映画をお借りできればと思います。(菅北)
- ・ それぞれの立場で現状を思うこと等を理解できた。そして共通して言えることは、普段の地域のつながりが防災・減災につながることを改めて強く感じた。
- ・ 北区のマンション住居の多い地域、状況をふまえて安否確認が必要。マンションの安全確保の共助、要援護者の方の共助の必要性が大事。
- ・ 新聞スリッパ、我がマンション自治会でも講習会をしたいと思います。
- ・ 講演の中で「安全確保」の意識を持つこと。自分ごととして、自らに考え、行動を起こすことの大切さを理解できて良かったです。

※その他

- ・ ダンボールベッドやトイレを実際に組立ててみてとても勉強になりました。身近なもので防災に役立つ知識を得ることが出来、とても有意義でした、
- ・ 災害ボランティアセンターのニーズ受付の訓練では、訓練にも関わらずうまくマッチングが出来なくて焦りとジレンマを感じました。こういった訓練を何度か繰り返し行うことによって、もっと上手くマッチングや聞き取りができるようになっていくと思うので、今後も継続して定期的に何度も訓練をして欲しいです。